

令和3年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総合政策部長 岡崎 清吾	<p>●使命 総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。</p> <p>また、持続可能な地域づくりに向けて、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>①透明で開かれた市役所を目指して、市民目線での市政情報の広報に取り組みます。</p> <p>②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。</p> <p>③市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。</p> <p>④豊かな自然や歴史・文化と共生した魅力あるまちなみの維持に努めます。</p>	所管課	秘書広報課、企画振興課		
		人 員	正職員	会計年度任用職員	合計
			17人	8人	25人
		一般会計	1,022,765 千円		
		特別会計	12,225 千円		
		計	1,034,990 千円		
(うち人件費)	(108,855 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>ふるさと納税（応援寄付金）制度の推進</p> <p>・新たな返礼品の開発や品目の拡充により、ふるさと納税による税外収入の確保を推進します。</p> <p>・市のさまざまなプロジェクトを紹介し、特設サイトからふるさと納税を集める仕組みを推進します。</p>	<p>・歳入確保と市のイメージアップのため、寄付者との関係維持やお礼の品の開発・拡充に取り組みます。</p> <p>目標額：6億円以上 (特設サイト分含む)</p> <p>新規お礼の品：200品以上</p> <p>・特設サイトからの寄附の拡大を図るため、各プロジェクトを効果的に、広く情報発信します。</p> <p>特設サイト目標額：2,000万円以上</p>	<p>9月末現在寄附金総額（未確定数値）は233,792,500円でした。新規お礼の品は94品開発し、拡充に取り組んでいます。</p> <p>特設サイトの寄附額が下がっている状況です。</p> <p>特設サイト総額 1,123,000円</p>	<p>1月末現在寄附金総額（未確定数値）は715,817,731円でした。新規お礼の品は102品開発し、拡充に取り組んでいます。</p> <p>特設サイトの寄附額が伸びています。</p> <p>特設サイト総額 18,697,168円</p>	<p>3月末現在寄附金総額（未確定数値）は804,085,899円でした。新規お礼の品は246品開発しました。</p> <p>特設サイトの寄附額が伸びました。</p> <p>特設サイト総額 23,642,168円</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2 広報等による市内外への情報発信とシティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市外への情報発信として情報誌を発行し、市の魅力や取り組み等を広く発信します。 ・マスコットキャラクター（セトちゃん）を広く発信することにより「瀬戸内市」の知名度の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌を年4回発行することにより、ファンを獲得し、関係を継続します。 ファンクラブ会員 目標数：2,000人 ・各種イベントへの参加やSNSを通じて情報発信します。 イベント参加：年20回以上 	<p>情報誌は10月、11月、12月、2月を目途に発行を計画しています。 ファンクラブ会員 9月末 1,222人</p> <p>コロナの影響により活動できていません。</p>	<p>情報誌は10月、12月上旬、12月下旬に発行し、2月を目途に発行予定です。 ファンクラブ会員 1月末 1,388人</p> <p>SNSを通じての情報発信とシティプロモーション事業で動画や名刺を作成しました。</p>	<p>情報誌は10月、12月上旬・下期、3月に発行しました。 ファンクラブ会員 3月末 1,722人</p> <p>イベント参加はできませんでしたが、SNSの情報発信と名刺を作成しました。</p>
3 国内・国際交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員の配置による国際交流と国際理解の推進に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生の推進に関する事業に取り組みます。 目標数：研修参加者数20人 ・日常生活に必要な情報をまとめた外国人向けパンフレット等の多言語化を3月までに進めます。 	<p>10月中旬から国際交流員が配置される予定であり、事業の取り組みを検討します。 10月中旬から国際交流員が配置される予定であり、作成時期や内容を検討していきます。</p>	<p>国際交流員が配置され、イベント開催、SNSを活用した情報発信など取り組んでいます。 パンフレットの作成はせず、職員を対象としたやさしい日本語講座の開催を予定しています。</p>	<p>イベント開催はできませんでしたが、SNSを活用した情報発信に取り組みました。 3月23日 職員を対象としたやさしい日本語講座を開催しました。参加者：10人</p>
4 地方創生の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少対策に特化した地方創生の取り組みを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・邑久高校の生徒や市内の小中学生などが地域を学ぶ機会を作ることで、郷土愛の醸成を図ります。 郷土学習の事業数：3事業以上 	<p>7月、邑久高校の地域学で瀬戸内市の課題や取り組みについて講義を行いました。</p>	<p>邑久高校と連携し、郷土学習の教材となる「瀬戸内市オリジナル SDGs カードゲーム」を作成し、出前授業を市内の1中学校と2小学校で実施予定でしたが、コロナのまん延防止等重点措置と重なり中止となりました。</p>	<p>郷土学習の教材となる「瀬戸内市オリジナル SDGs カードゲーム」を活用した出前授業を市内の1中学校と2小学校で実施予定でしたが、コロナのまん延防止等重点措置と重なり中止となりました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
		<ul style="list-style-type: none"> お試し住宅などを活用し、リモートワーク(RW)推進のための基盤整備を図ります。 	お試し住宅へのインターネット整備や事業者に対する補助制度の創設、事業推進主体に対する補助金交付決定を行いました。	基盤整備は概ね完了し、4組の体験モニターを受入れましたが、一般向けのPRや受入はコロナ禍の影響で推進できていない状況です。	整備した基盤を用いて、企業等からの相談や受入に対応しました。 相談件数 : 25件 RW登録会員数: 10件	
		<ul style="list-style-type: none"> 移住交流促進協議会との連携により、移住者の増加を図ります。 目標:相談会からの移住5組 	オンライン相談7件、現地案内5件に対応しました。9月末までに6組15人の移住者を受入れました。	オンライン相談23件、現地案内16件に対応しました。1月末までに9組24人の移住者を受入れました。	オンライン相談28件、現地案内16件に対応しました。3月末までに9組24人の移住者を受入れました。	
5	市民協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体を支援することにより、協働のまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税制度を活用した市民活動団体支援制度の導入を進めます。 	他自治体の制度事例等を研究中です。 8月議会で「市民活動団体の支援に関すること」を寄附対象事業に追加する条例改正を行いました。	他自治体の制度事例等を研究中です。	同左
6	持続的な公共交通網の維持	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通計画に基づき、民間の交通事業者とも連携し、公共交通網を維持します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな公共交通不便地域が生じないように、既存の公共交通網を維持します。 	両備バスが虫明長島愛生園線の路線維持が困難との表明があり、市として路線を維持する方法を模索しています。	12月に開催した地域公共交通会議で虫明長島愛生園線を市営バス路線として次年度から引き継ぐ方針を決定し、準備を進めています。	3月末までに、虫明長島愛生園線を市営バス路線として運行するために必要となる手続きや関係機関との調整が完了し、4月から新たな市営バス路線として運行する準備が整いました。

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<ul style="list-style-type: none"> 前島地区に新たな地域内交通を導入します。 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月までに島内に新たな地域内交通を導入し、利用促進を図ります。 	8 月 1 日から前島地域内交通の実証運行を開始しました。	順調に運行し、月毎の利用者数は概ね 30～40 人程度で推移していましたが、1 月は 7 人と大幅に減少しています。	一定の利用はあるものの、利用者数が低迷していることから、現在は前島住民に限定している利用対象の範囲を拡大するための検討に着手しました。
7	<ul style="list-style-type: none"> SDGs につながる取り組みを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 次総合計画と SDGs の関連を明確に示すとともに、職員に SDGs 研修を実施します。 目標:職員研修実施回数 2 回	第 3 次総合計画に SDGs と一体的に推進することを明記しました。	庁内組織として 7 月に「瀬戸内市 SDGs 推進本部」を設立しました。10 月に職員研修を 2 回開催しました。11 月以降「瀬戸内市 SDGs 拡大会議」を 3 回開催し庁内の推進体制を整備しています。	「瀬戸内市 SDGs 拡大会議」を 4 回開催し、庁内の推進体制の整備と、職員の SDGs に対する理解を深めました。
	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域に対し、地域の要望に応じた支援を行います。 目標:新しい自治組織の設立 1 地域	鹿忍地区まちづくり協議会が 4 月 1 日に発足しました。要望のあった地区（本庄、玉津）で地域課題等の聞き取りを行いました。	新たに設立した鹿忍地区まちづくり協議会の運営を支援するとともに、他地区（福岡）に聞き取り等を行いました。	鹿忍地区まちづくり協議会の令和 4 年度活動計画の策定を支援するとともに、協働のまちづくり推進委員会で鹿忍地区の取組を共有しました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
8 地域資源をいかした魅力あるまちなみ形成の推進	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な建造物などが残るまちなみの魅力づくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> まちなみを形成する資源を活用した地域の魅力づくりの方向性を年度末までに決定します。 	建築士、京都大学が立ち上げた、牛窓しおまち唐琴通りの保全・活用を考える研究室に参加し、歴史や建造物等の実態調査を行いました。今後住民ヒアリング等を行う予定です。	住民4人にヒアリングを行い、京都大学で整理が行われています。魅力づくりには、地域の実態や課題をより深く掘り下げる必要があります。協働提案事業を活用して継続調査する方向としました。	協働提案事業を活用して来年度継続調査できる状況を作ることができました。
	<ul style="list-style-type: none"> 空き家等を活用した過疎地域のまちなかの活性化(牛窓リノベーションプロジェクト)を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生拠点施設「牛窓テレモーク」を起点に、民間事業者や金融機関とも連携しながら、牛窓エリアの賑わい創出を促進します。目標：牛窓エリア内(拠点施設を含む)の空き家等で起業・創業した事業者数4事業者以上 	拠点施設は6月に本格的に供用を開始し、来館者数は61,500人程度となっています。拠点施設内に1事業者が開業、その他前島、関町の2つの物件でファンドを活用した創業が計画されています。	拠点施設の来館者は85,000人程度で、新たに1事業者が3月に開業予定です。エリア内での物販店開業の1事業者を支援しました。エリア再生に係る国の補助事業に応募しました。	拠点施設の来館者は89,000人程度で、予定どおり1事業者が3月に開業したことで、目標としていた4事業者の創業を達成しました。応募していたエリア再生に係る国の補助事業について採択を受けることができました。